

第 26 回通常総会

2020 年 3 月 17 日（火）

一般社団法人 言語処理学会

The Association for Natural Language Processing

第 26 回通常総会次第

日時 2020 年 3 月 17 日 (火) 12 時 20 分～13 時 10 分

会場 茨城大学 共通教育棟 12 番教室

総会次第

第 1 号報告 2019 年度事業報告

第 1 号議案 2019 年度決算報告

第 2 号報告 2019 年度監査報告

第 3 号報告 2020 年度事業計画

第 4 号報告 2020 年度予算案

第 2 号議案 理事の選任

第 3 号議案 監事の選任

第 5 号報告 2021 年度からの学会誌「自然言語処理」の発行計画

第 4 号議案 定款の改訂

第 6 号報告 2020 年度代議員構成

以上

2019 年度事業報告

1. 概要

言語処理学会の主要な活動として、論文誌「自然言語処理」の発行および年次大会の開催を計画通りに進めました。「自然言語処理」に関しては、第 26 巻の 1 号から 4 号を発行しました。第 25 回年次大会は、2019 年 3 月 12 日(火)から 15 日(金)まで、名古屋大学で開催しました。

2. 会員現況

正会員 882 名 (+28) [うちシニア会員 20 名 (+2)]

学生会員 115 名 (+9)

賛助会員 23 組織 (+2), 24 口 (+2)

特殊購読会員 32 組織 (-2), 40 口 (-2)

(2019 年 12 月 31 日現在, 増減は 2018 年 12 月 31 日との比較)

なお, 定款第 11 条 1 項 2 号にもとづき, 会費を 1 年以上滞納した会員 57 名(正会員 31 名(うちシニア会員 0 名), 学生会員 26 名)については, その会員資格を喪失したものと扱います。

3. 会誌の発行

第 26 巻第 1 号 (2019 年 3 月 15 日発行, 通巻 119 号)

巻頭言, 一般論文 9 編, 編集後記, 会告

第 26 巻第 2 号 (2019 年 6 月 15 日発行, 通巻 120 号)

巻頭言, 一般論文 9 編, 編集後記, 会告

第 26 巻第 3 号 (2019 年 9 月 15 日発行, 通巻 121 号)

巻頭言, 一般論文 3 編, 応用システム論文 1 編, 編集後記, 会告

第 26 巻第 4 号 (2019 年 12 月 15 日発行, 通巻 122 号)

巻頭言, 一般論文 3 編, 編集後記, 会告

4. 第 25 回年次大会の開催

◇ 開催日: 2019 年 3 月 12 日(火)～3 月 15 日(金)

◇ 会場: 名古屋大学 東山キャンパス(愛知県名古屋市)

◇ プログラム

[一般発表 口頭発表] 3 月 13 日～15 日 発表件数 132 件

[一般発表 ポスター発表] 3 月 14 日～15 日 発表件数 210 件

[一般発表 テーマセッション発表] 3 月 14 日発表件数 56 件

言語教育と言語処理の接点(発表件数 10件)

実世界にグラウンドされた言語処理(発表件数 9件)

化学分野への言語処理の応用(発表件数 9件)

試験問題をベンチマークとする言語処理(発表件数 11件)

談話研究と言語処理, 人工知能研究の連携に向けて(発表件数 10件)

産業翻訳に役立つ自然言語処理技術(発表件数 7件)

[招待講演]

春野 雅彦 先生(NICT脳情報通信融合研究センター)

「社会脳科学と自然言語処理」(3月13日)

藤村 宣之 先生(お茶の水女子大学准教授)

「探究と協同を通じた子どもたちの「深い学び」」(3月14日)

[招待論文講演] (3件) 3月15日

「平易なコーパスを用いないテキスト平易化」(Vol. 25, No.2, pp.223-249)

梶原智之・小町 守

「名詞句の情報の状態と読み時間について」(Vol. 25, No.5, pp.527-554)

浅原正幸

「二値符号予測と誤り訂正を用いたニューラル翻訳モデル」(Vol. 25, No.2, pp.167-200)

小田悠介, Philip Arthur, Graham Neubig, 吉野幸一郎, 中村 哲

[25周年企画] 3月13日

第25回の開催を記念して、これまでの四半世紀と今後の四半世紀を考えるシンポジウムを開催しました。開催に先立ち、これまでのプログラム委員長経験者および今回のプログラム委員にアンケートを実施しました。パネリストとして、これまでのプログラム委員長経験者および今後について示唆をいただける方をお願いしました。パネリストは、江原 暉将先生, 井佐原均先生, 黒橋禎夫先生, 鶴岡慶雅先生, 丸山岳彦先生に快諾いただきました。会場は満員になり、シニアな会員の方にも参加いただきました。言語処理は、深層学習の発展による転換期にあり、言語処理の今後を考える良い契機になったのではないかと考えます。

[一般チュートリアル講演](4件) 3月12日

西田 京介先生(NTT)

「機械読解の現状と展望」

橋本 敬先生(北陸先端科学技術大学院大学)

「言語の創発構成論～言語進化の計算機実験・実験室実験の紹介」

林 克彦 先生(大阪大学)

「知識グラフと分散表現」

日高 昇平先生(北陸先端科学技術大学院大学)

「次世代オブジェクト認識の可能性に向けて」

[スポンサーイベント] 3月12日

前回に引き続き、スポンサー企業・組織と参加者(とくに学生)との交流を目的として実施しました。前回同様大変に好評でした。

◇ 年次大会優秀賞・若手奨励賞

大会前に選考を行い、大会期間中に表彰する形式を踏襲しています。全ての一般発表論文(398件)を対象に審査を行い、大会賞を選定しました。優秀賞選考は、全論文に対する計194名の選考委員による1次選考と、そこで絞り込まれた優秀賞候補25件に対する10名の最終選考委員による最終選考の二段階で行い、最優秀賞2件、優秀賞5件を選定しました。若手奨励賞選考は、前回同様、優秀賞選考とは独立に最終選考を行うこととしました。優秀賞と同様に1次選考の結果選ばれた若手奨励賞候補25件に対して4名の最終選考委員による最終選考を行い、若手奨励11件を選定しました。

第 25 回言語処理学会年次大会優秀賞

■最優秀賞 (2 件)

D2-2 深層強化学習を用いた意味依存構造解析は自発的に平易優先戦略を学習する

○栗田修平 (京大), Anders Sogaard (コペンハーゲン大)

P4-1 Generating Syntactically Diverse Translations with Syntactic Codes

○朱中元, 中山英樹 (東大)

■優秀賞 (5 件)

B1-1 回答スタイルを制御可能な生成型機械読解

○西田京介, 斉藤いつみ, 西田光甫 (NTT), 篠田一聡 (東大),
大塚淳史, 浅野久子, 富田準二 (NTT)

C4-9 英語ライティング学習支援のための前置詞誤り解説生成

○永田亮 (甲南大/さきがけ)

F4-5 構造付き Web テキスト翻訳のための高品質多言語データセット

○橋本和真, Raffaella Buschiazzi, James Bradbury, Teresa Marshall,
Richard Socher, Caiming Xiong (Salesforce)

E5-1 Expert と Imitator の混合ネットワークによる大規模半教師あり学習

○清野舜, 鈴木潤, 乾健太郎 (東北大/理研 AIP)

P8-4 知識グラフ埋め込みのための二値化 CP 分解

○岸本広輝, 林克彦, 赤井元紀 (阪大), 新保仁 (NAIST), 駒谷和範 (阪大)

第 25 回言語処理学会年次大会若手奨励賞 (11 件)

B1-2 実行時機械翻訳による多言語機械読解

浅井明里 (東大)

F2-2 係り受け木を用いたツリーバンク自動生成による CCG 解析分野適応

吉川将司 (NAIST)

A3-4 単語分散表現のタスク横断写像に基づく高精度多言語モデル

佐久間仁 (東大)

B3-2 クラウドソーシングによる大喜利の面白さの構成要素の分析

中川裕貴 (京大)

P5-5 言語モデルを用いた日本語の語順評価と基本語順の分析

栗林樹生 (東北大)

P5-30 独立発話の繋ぎ合わせによる発話-応答ペアの獲得

赤間怜奈 (東北大/理研 AIP)

F6-1 質問-回答対を利用した半教師有り抽出型質問要約

町田和哉 (東工大)

F6-2 談話構造を考慮する階層的注意機構による抽出型ニューラル単一文書要約

石垣達也 (東工大)

P6-11 出力長制御を考慮した見出し生成モデルのための大規模コーパス

人見雄太 (朝日新聞)

P7-4 擬ユークリッド空間への単語埋め込み

Kim Geewook (京大/理研 AIP)

P7-18 マルチタスク学習を用いたニューラル文内述語項構造解析

大森光 (首都大)

◇ 年次大会優秀ポスター賞

今大会での初めての試みとして, 優秀ポスター賞の表彰をおこないました. 各ポスター発表の時間帯において, 参加者に, インターネット上に開設した投票サイトから, 最大 5 人のポスター発表者に対して票を投じてもらい, 獲得票数により授賞を決定しました. 2 重投票等の基準

を満たさない投票は除外しています。同数の票を獲得した発表者が複数いた場合は複数授賞としました。

第 25 回言語処理学会年次大会最優秀ポスター賞 (7 件)

- P2-11 クエリ・出力長を考慮可能な文書要約モデル
齊藤いつみ (NTT)
- P3-38 Wikidata からの遠距離教師あり学習に基づく大規模関係知識獲得
松田耕史 (東北大)
- P5-30 独立発話の繋ぎ合わせによる発話-応答ペアの獲得
赤間怜奈 (東北大/理研 AIP)
- P5-30 独立発話の繋ぎ合わせによる発話-応答ペアの獲得
武藤由依 (東北大)
- P6-11 出力長制御を考慮した見出し生成モデルのための大規模コーパス
人見雄太 (朝日新聞)
- P7-4 擬ユークリッド空間への単語埋め込み
Kim Geewook (京大/理研 AIP)
- P7-21 教師なし英日ニューラル機械翻訳の検討と文の潜在表現の分析
米田昌弘 (東大)

第 25 回言語処理学会年次大会優秀ポスター賞 (8 件)

- P1-1 解説文生成研究のためのライティング技術解説付き学習者コーパス
永田亮 (甲南大/さがけ/理研 AIP)
- P1-26 ダイレクト広告コピー文の分析と自動生成
平良裕汰朗 (名大)
- P3-17 文法誤り訂正における反復訂正の効果検証
浅野広樹 (東北大/理研 AIP)
- P4-7 位置エンコーディングを用いた出力長制御
高瀬翔 (東工大)
- P7-24 対義語対の差分ベクトルを使用した評価極性辞書の拡張
川島寛乃 (慶應大)
- P7-37 双方向学習と再現学習を統合したニューラル機械翻訳
森下睦 (NTT)
- P8-8 画像/言語同時埋め込みベクトル空間の構築に向けた 埋め込み粒度の比較検討
北山晃太郎 (東北大)
- P8-9 Graph-to-Sequence アプローチによる学術論文のアブストラクト生成
近藤雅芳 (NAIST)

◇ まとめ

年次大会の参加者は、地方開催であるにも関わらず事前登録 857 名、当日受付 267 名、招待者 14 名、スポンサー招待者 137 名の合計 1,275 名となり、前回より大幅に増えて、過去最高を更新しました。発表件数やスポンサー申し込みも過去最多となり、大規模な大会となりました。

年次大会の運営は従来のものを踏襲しつつ、今回新たに下記の施策、改良を行いました。

- 実行委員の負担軽減を目的とした開催期間の短縮とスポンサーのチラシ等のカンファレンスバッグへの事前封入の廃止
- 運営業務の一部を外部業者に委託
- 公式 Twitter アカウントによる情報配信
- スポンサーのレベルに応じた人数の大会への招待
- プログラムのカラー化

- 優秀ポスター賞の授与
- 大会賞審査コメントの著者へのフィードバック
- 投稿カテゴリーの再編成
- プログラム編成を柔軟にするため、従来の投稿種別「口頭発表」「ポスター発表」に加え、「どちらでも良い」を追加

大会の規模が大きくなっているのは、自然言語処理技術に対する関心が高くなっていることの現れと考えています。これは大変喜ばしいことなのですが、大会の大規模化に伴い、運営の労力が増えてきています。今後も、学会員にとって有効な情報交換の場である年次大会が持続可能なように、運営を効率化させていきたいと考えています。そのために有効な施策に関して、皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています。

5. ニュースレターの発行

2019年には、ニュースレター Vol.26, No.1 - No.3 の3号を発行し、学会運営、大会案内、大会優秀賞、論文賞、言語処理技術セミナー開催などについて会員の皆さまへの情報提供を行いました。また、Vol.26, No.3 では会誌「自然言語処理」の投稿資格の変更や年次大会発表資格の変更という、二つの重要な変更についても立項して会員への周知徹底を図りました。これらのバックナンバーは、学会サイトでも公開しています。

6. 理事会の開催

計6回の理事会を開催し、入退会会員の承認、事業計画、予算、論文賞選考、年次大会の方針、年次大会優秀賞、ニュースレター発行、関連学会等への協賛等について審議し決定しました。また、言語処理技術セミナーの開催や、年次大会の発表者の要件などの学会運営についても議論しました。

理事会開催:

- 第127回(2019年1月15日, 国立情報学研究所)
- 第128回(2019年3月12日, 名古屋大学)
- 第129回(2019年5月9日, 国立情報学研究所)
- 第130回(2019年7月17日, 国立情報学研究所)
- 第131回(2019年9月18日, 国立情報学研究所)
- 第132回(2019年11月26日, 国立情報学研究所)

7. 編集委員会

◇編集委員会の会議

2019年は、実際に顔を合わせる編集委員会を2回開催したほか、随時、メール審議の形式で編集委員会を開催し、採否決定の一層の迅速化に努めました。

編集委員会開催:

- 第100回(2019年3月14日, 名古屋大学東山キャンパス)
- 第101回(2019年9月17日, 東京大学本郷キャンパス)

◇英文校正サービスとコーパス化

2019年掲載論文について、15件の論文のタイトルと概要の英文校正ならびに3件の英文論文の本文の英文校正を実施しました。また、多数の著者の協力を得て、校正前の英文と校正後の英文を「言語処理学会英文校正コーパス」として管理し、会員の求めに応じて提供しています。

◇2019 年度論文賞の選考

2019 年に出版された自然言語処理 26 巻 1 号から 4 号に掲載された論文 25 編から相応しい論文を推薦することを目標として、内山将夫副編集長が論文賞一次選考委員長，論文賞最終選考委員長を務め，それぞれ編集委員を選考委員とする選考委員会（一次選考は 26 名，最終選考は 14 名）を編成して選考を実施し，下記の論文を選定しました．

（最優秀論文賞）

最優秀論文賞1件は招待論文セッション・表彰式で発表することを予定していましたが，中止となったため 3 月 19 日以降に発表します．

（論文賞）

著者名：渡邊 大貴，田村 晃裕，二宮 崇，Teguh Bharata Adjı

論文タイトル：CKY に基づく畳み込みみアテンション構造を用いたニューラル機械翻訳

発行巻号頁：Vol.26 No.1, pp.207-230

著者名：栗田 修平，河原 大輔，黒橋 禎夫

論文タイトル：ニューラルネットワークを利用した中国語の統合的な構文解析

発行巻号頁：Vol.26 No.1, pp.231-258

著者名：宮崎 千明，佐藤 理史

論文タイトル：発話テキストへのキャラクター性付与のための音変化表現の分類

発行巻号頁：Vol.26 No.2, pp.407-440

著者名：田中 貴秋，永田 昌明

論文タイトル：日本語の文法機能タイプ付き単語依存構造解析

発行巻号頁：Vol.26 No.2, pp.441-481

著者名：加藤 明彦，進藤 裕之，松本 裕治

論文タイトル：複単語表現を考慮した依存構造コーパスの構築と解析

発行巻号頁：Vol.26 No.4, pp.663-688

◇自然言語処理の電子化

創刊号から 2008 年度までの本誌の全件が，JST の電子アーカイブ事業により無償で電子化され JST のサイト Journal@rchive で公開されています．また，2009 年度以降の本誌も，上記 Journal@rchive と一体的に運営されている J-STAGE で公開されており，新規に出版されたものは三ヶ月後に電子化され公開されます．すなわち，現在，創刊号から，紙媒体で出版後三ヶ月経過した号まで，常時，電子的に閲覧可能となっています．

◇論文掲載数および投稿数

2019 年は、通常号 4 号を出版し、総計 25 編の論文を刊行しました。「自然言語処理」への 2019 年の通常論文投稿数は、昨年の 1.2 倍の 39 編でした。

◇論文誌の紙媒体発行終了を決定(2020 年末まで発行)

◇査読者データベースを大幅更新

◇紙媒体発行終了までの過渡期についても論文誌のカラーページを印刷許可

(著者の出版負担追加 25,000 円/頁)

◇論文誌の著者権の扱いを「クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 パブリック・ライセンス(CC BY 4.0)」として整理

◇投稿論文の増加に対応するため、編集委員を 9 月・3 月の 2 回交代制とした。

8. 助成, 協賛, 後援

以下の会議への助成, 協賛, 後援を行いました。

- (1) 第 10 回産業日本語研究会・シンポジウム(後援)
丸ビルホール 2019 年 2 月 21 日
- (2) 第 22 回 画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2019)(協賛)
グランキューブ大阪 2019 年 7 月 29～8 月 1 日
- (3) NLP 若手の会(YANS) 第 14 回シンポジウム(助成)
ホテルエミシア札幌 2019 年 8 月 26～28 日
- (4) 日本音響学会第 168 回技術講習会(協賛)
全国家電会館 2019 年 9 月 12～13 日
- (5) The 33rd Pacific Asia Conference on Language, Information and Computation (PACLIC33)
(後援)
公立はこだて未来大学 2019 年 9 月 13～15 日
- (6) 第 29 回 JTF 翻訳祭(後援)
パシフィコ横浜 2019 年 10 月 24 日
- (7) AAMT 2019(協賛)
主婦会館プラザエフ 2019 年 11 月 19 日
- (8) 第 17 回ロボット聴覚システム HARK 講習会(協賛)
早稲田大学 2019 年 11 月 21 日
- (9) 人工知能学会 合同研究会 2019(協賛)
慶應義塾大学 2019 年 11 月 22 日～23 日
- (10) IDR ユーザフォーラム 2019(後援)
国立情報学研究所 2019 年 11 月 29 日

9. その他

学会出版企画として刊行している「実践・自然言語処理シリーズ」(近代科学社)の第6巻『クチコ

ミ分析システムの作り方』を出版しました。

11月29日に渋谷ソラストコンファレンス4Aにおいて、85名の参加者に対し、須藤克仁氏(奈良先端大)、金山博氏(日本IBM)、徳久良子氏(豊田中研)、山下達雄氏(ヤフー)による講演を行いました。

代議員選挙を実施し、代議員の半数を改選しました。

学会 Web サーバの常時 SSL 化を実施しました。

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2019年 1月 1日から2019年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[8,384,000]	[8,604,000]	[-220,000]	
正会員受取会費	(6,376,000)	(6,684,000)	(-308,000)	
正会員当年度	6,272,000	6,576,000	-304,000	@8,000円×822名
正会員過年度	40,000	40,000	0	@8,000円×5名
正会員(シニア)当年度	64,000	68,000	-4,000	@4,000円×17名
正会員(シニア)過年度	0	0	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(388,000)	(420,000)	(-32,000)	
学生会員当年度	388,000	420,000	-32,000	@4,000円×105名
学生会員過年度	0	0	0	@4,000円×0名
賛助会員受取会費	(1,200,000)	(1,100,000)	(100,000)	
賛助会員当年度	1,200,000	1,100,000	100,000	1口50,000円×22口
賛助会員過年度	0	0	0	
特殊購読会員受取会費	(420,000)	(400,000)	(20,000)	
特殊購読会員当年度	420,000	400,000	20,000	
特殊購読会員過年度	0	0	0	
事業収益	[21,520,000]	[27,174,000]	[-5,654,000]	
学術研究事業(年次大会)	(18,290,000)	(23,508,000)	(-5,218,000)	
年次大会参加費	7,620,000	10,230,000	-2,610,000	
年次大会懇親会費	1,510,000	1,858,000	-348,000	
年次大会協賛・広告	9,160,000	11,420,000	-2,260,000	
年次大会助成・補助	0	0	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,230,000)	(3,666,000)	(-436,000)	
論文誌広告料	150,000	60,000	90,000	
別刷代	2,080,000	2,520,000	-440,000	25巻5号～26巻4号
雑誌頒布収益	0	0	0	
産業界向けイベント参加費	1,000,000	1,086,000	-86,000	
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	
雑収益	[264]	[132,938]	[-132,674]	
受取利息	264	264	0	
雑収益	0	132,674	-132,674	
経常収益計	29,904,264	35,910,938	-6,006,674	
(2) 経常費用				
事業費	[25,462,612]	[25,496,266]	[-33,654]	
年次大会開催費	(16,252,612)	(16,965,008)	(-712,396)	
年次大会運営サポート費	7,198,643	7,878,374	-679,731	
受付代行費	1,189,203	1,279,364	-90,161	
資料作成費(印刷費)	936,166	1,022,015	-85,849	
コンファレンスバック代	100,000	409,536	-309,536	
プログラム委員会費	559,900	512,506	47,394	
年次大会会場費	3,003,700	2,198,851	804,849	
年次大会人件費	0	0	0	
年次大会講師謝金等	500,000	348,710	151,290	
論文賞招待旅費	70,000	14,880	55,120	
代議員会等会議費	225,000	304,420	-79,420	
表彰関係費	330,000	270,000	60,000	
年次大会懇親会費	1,800,000	2,451,412	-651,412	
実施委員会費	0	0	0	
託児委託費	50,000	100,299	-50,299	
年次大会雑費	290,000	174,641	115,359	
普及啓発事業	(9,210,000)	(8,531,258)	(678,742)	
論文誌印刷費	3,000,000	3,179,542	-179,542	26巻1号～26巻5号
論文誌通信運搬費	800,000	595,644	204,356	26巻1号～26巻5号
論文誌編集費	1,450,000	1,602,782	-152,782	26巻1号～26巻5号
論文誌電子化費用	120,000	109,220	10,780	26巻1号～26巻5号
編集委員会費	390,000	300,405	89,595	会合費、旅費、他
編集事務局費	1,600,000	930,270	669,730	業務委託
特殊購読・雑誌頒布経費	200,000	177,777	22,223	
論文誌活性化支援	200,000	153,790	46,210	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	260,000	254,396	5,604	論文誌の優秀賞の賞金・賞状等
若手研究者等の支援	100,000	100,000	0	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	0	0	
国際会議参加支援費	0	0	0	
産業界向けイベント開催費	990,000	827,432	162,568	
普及啓発事業雑費	100,000	300,000	-200,000	国際会議後援(PACLIC, INLG)
管理費	[4,139,800]	[3,609,059]	[530,741]	
法人設立費用	0	0	0	
代議員選挙費用	(160,000)	(174,843)	(-14,843)	
業務委託費	(2,724,800)	(2,657,500)	(67,300)	
学会事務委託費	2,224,800	2,235,100	-10,300	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	0	0	0	
税理士報酬	500,000	422,400	77,600	
司法書士報酬	0	0	0	理事変更登記
会費集金費	(400,000)	(473,339)	(-73,339)	
通信運搬費	(100,000)	(25,376)	(74,624)	
租税公課	(470,000)	(73,000)	(397,000)	法人市民税・住民税
振込手数料	(55,000)	(37,734)	(17,266)	
HP関連経費	(80,000)	(80,008)	(-8)	
雑費	(150,000)	(87,259)	(62,741)	
経常費用計	29,602,412	29,105,325	497,087	
当期経常収支差額	301,852	6,805,613	-6,503,761	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	301,852	6,805,613	-6,503,761	
一般正味財産期首残高	49,064,710	48,932,034	132,676	
一般正味財産期末残高	49,366,562	55,737,647	-6,371,085	

貸借対照表

2019年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	59,280,705
未収金	0
前払金	2,641,350
資産合計	61,922,055
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	614,408
前受金	50,000
前受会費	5,520,000
負債合計	6,184,408
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	55,737,647
正味財産合計	55,737,647
負債及び正味財産合計	61,922,055

財産目録

2019年12月31日現在

一般社団法人 言語処理学会

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金 預金	手元保管 銀行預金 ゆうちょ振替口座 みずほ銀行 ゆうちょ総合口座	運転資金として	157,759 59,122,946 27,779,769 23,806,337 7,536,840 0
未収金 前払金			2,641,350
資産合計			61,922,055
(流動負債)			
未払金 前受金 前受会費 前受正会員 前受学生会員 前受賛助会費 前受正会員(シニア)会費			614,408 50,000 5,520,000 4,040,000 308,000 1,100,000 72,000
負債合計			6,184,408
正味財産			55,737,647

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書として記載すべき事項はありません。

一般社団法人言語処理学会 正味財産増減計算書

2019年 1月 1日から2019年12月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額	備考
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	[8,604,000]	
正会員受取会費	(6,684,000)	
正会員当年度	6,576,000	@8,000円×822名
正会員過年度	40,000	@8,000円×5名
正会員(シニア)当年度	68,000	@4,000円×17名
正会員(シニア)過年度	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(420,000)	
学生会員当年度	420,000	@4,000円×105名
学生会員過年度	0	@4,000円×0名
賛助会員受取会費	(1,100,000)	
賛助会員当年度	1,100,000	1口50,000円×22口
賛助会員過年度	0	
特殊購読会員受取会費	(400,000)	
	400,000	
事業収益	[27,174,000]	
学術研究事業(年次大会)	(23,508,000)	
年次大会参加費	10,230,000	
年次大会懇親会費	1,858,000	
年次大会協賛・広告	11,420,000	
年次大会助成・補助	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,666,000)	
論文誌広告料	60,000	
別刷代	2,520,000	25巻5号～26巻4号
雑誌頒布収益	0	
産業界向けイベント参加費	1,086,000	
受取補助金等	[0]	
雑収益	[132,938]	
受取利息	264	
雑収益	132,674	
経常収益計	35,910,938	
(2) 経常費用		
事業費	[25,496,266]	
年次大会開催費	(16,965,008)	
年次大会運営サポート費	7,878,374	
受付代行費	1,279,364	
資料作成費(印刷費)	1,022,015	
コンファレンスバック代	409,536	
プログラム委員会費	512,506	旅費、Web外注、START、雑費、懇親会費
年次大会会場費	2,198,851	
年次大会人件費	0	
年次大会講師謝金等	348,710	
論文賞招待旅費	14,880	
代議員会等会議費	304,420	代議員会、スポンサー(朝食会、イブニング)
表彰関係費	270,000	賞状、賞金
年次大会懇親会費	2,451,412	
実施委員会費	0	
託児委託費	100,299	
年次大会雑費	174,641	
普及啓発事業	(8,531,258)	
論文誌印刷費	3,179,542	26巻1号～26巻5号
論文誌通信運搬費	595,644	26巻1号～26巻5号
論文誌編集費	1,602,782	26巻1号～26巻5号
論文誌電子化費用	109,220	26巻1号～26巻5号
編集委員会費	300,405	会合費、旅費、他
編集事務局費	930,270	業務委託
特殊購読・雑誌頒布経費	177,777	
論文誌活性化支援	153,790	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	254,396	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等
若手研究者等の支援	100,000	若手研究者の研究会等の支援

科 目	決算額	備考
国際会議開催費	0	
国際会議参加支援費	0	
産業界向けイベント開催費	827,432	
普及啓発事業雑費	300,000	国際会議後援(PACLIC, INLG)
管理費	[3,609,059]	
法人設立費用	0	
代議員選挙費用	(174,843)	
業務委託費	(2,657,500)	
学会事務委託費	2,235,100	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	0	
税理士報酬	422,400	
司法書士報酬	0	理事変更登記
会費集金費	(473,339)	
通信運搬費	(25,376)	
租税公課	(73,000)	法人市民税・住民税
振込手数料	(37,734)	
HP関連経費	(80,008)	
雑費	(87,259)	
経常費用計	29,105,325	
当期経常収支差額	6,805,613	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外収支差額	0	
当期一般正味財産増減額	6,805,613	
一般正味財産期首残高	48,932,034	
一般正味財産期末残高	55,737,647	

●上記の通り報告いたします。

一般社団法人言語処理学会財務理事

落谷 亮



一般社団法人言語処理学会財務理事

山下 達雄



●監査の結果、上記の結果に相違ありません。

一般社団法人言語処理学会 監 事

田中英輝



一般社団法人言語処理学会 監 事

永田昌明



2020年 2 月 14 日

監査報告書

2020年 2月14日

一般社団法人 言語処理学会

会長 佐藤 理史 殿

一般社団法人 言語処理学会

監 事 田中 英輝 

監 事 河村 昌明 

私たちは2019年1月1日から2019年12月31日までの2019年度における
一般社団法人言語処理学会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査
手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会への出席、理事からの報告の聴取、関係書類の
閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、
法人の財政状況を正しくしめしているものと認めます。
- (2) 事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上

2020 年度事業計画

1. 運営・活動方針

2020 年度もこれまで通り、論文誌「自然言語処理」の発行と年次大会の開催を中心に、言語処理学会の設立の目的に沿った運営・活動を進めます。さらに、2018 年度より開始した、自然言語処理技術の普及に向けたイベントを今年度も開催する予定です。

2. 会誌の発行

- ・ 第 27 巻第 1 号 (2020 年 3 月中旬発行予定, 通巻 123 号)
- ・ 第 27 巻第 2 号 (2020 年 6 月中旬発行予定, 通巻 124 号)
- ・ 第 27 巻第 3 号 (2020 年 9 月中旬発行予定, 通巻 125 号)
- ・ 第 27 巻第 4 号 (2020 年 12 月中旬発行予定, 通巻 126 号)

なお、2018 年 1 月より同期式査読に移行し、すべての通常号の編集を予め設定したスケジュールに従って行っています。これにより「〇月〇日までに投稿すれば△月△日までに必ず採否が決まる」というように日程が保証されています。編集スケジュールは学会ウェブページに掲載しています。

3. 第 26 回年次大会の開催

2020 年 3 月 16 日(月)～ 3 月 19 日(木)に茨城大学(水戸キャンパス)で開催することを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、3 月 17 日(火)～ 3 月 19 日(木)にかけてオンラインで開催する予定です。

4. ニュースレターの発行

原則として、前年と同様の回数と内容で発行予定です。学会のメーリングリストを通じて配布します。これらは、学会のホームページにバックナンバーとして公開します。

5. 会議

◇社員総会

2020 年 3 月の年次大会に併せて、2020 年度社員総会を開催します。予算・決算、学会全体の活動の活性化に向けた施策、関連する研究分野との交流の促進などについて審議、承認します。

◇理事会

昨年度同様に 6 回程度開催します。論文等の電子的公開、年次大会の開催、他学会との連携などについて審議します。

◇編集委員会

編集委員会は、メールによる審議をベースとし、これまで通りの効率的な運営に努めます。会誌をより活性化し、会員にとってさらに魅力的なものとするために、論文の投稿促進施策や、新たなコンテンツの企画などを継続的に検討します。

6. その他

学会出版企画の「実践・自然言語処理シリーズ」(全 10 巻)の刊行を進めます。

若手研究者への研究発表支援策として開始した、COLING への学生参加旅費支援を、2020 年度の再実施に向けて継続して検討します。

自然言語処理技術の産業応用を促進するため、2019 年度に引き続き、産業界向けのセミナーを開催します。

一般社団法人言語処理学会 予算書

決算予測：2019年 1月 1日から2019年12月31日（12月16日時点予測）

(単位:円)

科 目	2019年予算	2019決算予測(通年)	2020年予算額	備考
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[8,384,000]	[8,592,000]	[8,980,000]	
正会員受取会費	(6,376,000)	(6,676,000)	(7,008,000)	
正会員当年度	6,272,000	6,568,000	6,888,000	@8,000円×861名
正会員過年度	40,000	40,000	40,000	@8,000円×5名
正会員(シニア)当年度	64,000	68,000	80,000	@4,000円×20名
正会員(シニア)過年度	0	0	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(388,000)	(416,000)	(472,000)	
学生会員当年度	388,000	416,000	472,000	@4,000円×118名
学生会員過年度	0	0	0	@4,000円×0名
賛助会員受取会費	(1,200,000)	(1,100,000)	(1,100,000)	
賛助会員当年度	1,200,000	1,100,000	1,100,000	1口50,000円×22口
賛助会員過年度	0	0	0	
特殊購読会員受取会費	(420,000)	(400,000)	(400,000)	
特殊購読当年度	420,000	400,000	400,000	
特殊購読過年度	0	0	0	
事業収益	[21,520,000]	[27,199,000]	[28,671,000]	
学術研究事業(年次大会)	(18,290,000)	(23,508,000)	(24,921,000)	
年次大会参加費	7,620,000	10,230,000	9,177,000	
年次大会懇親会費	1,510,000	1,858,000	2,654,000	
年次大会協賛・広告	9,160,000	11,420,000	13,090,000	
年次大会助成・補助	0	0	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,230,000)	(3,691,000)	(3,750,000)	
論文誌広告料	150,000	100,000	100,000	
別刷代	2,080,000	2,505,000	2,505,000	
雑誌頒布収益	0	0	0	
産業界向けイベント参加費	1,000,000	1,086,000	1,145,000	
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	
雑収益	[264]	[169,702]	[33,264]	
受取利息	264	264	264	
雑収益	0	169,438	33,000	印税、著作権使用料
経常収益計	29,904,264	35,960,702	37,684,264	
(2) 経常費用				
事業費	[25,462,612]	[25,517,194]	[41,280,462]	
年次大会開催費	(16,252,612)	(16,965,008)	(24,805,462)	
年次大会運営サポート費	7,198,643	7,878,374	14,644,865	
受付代行費	1,189,203	1,279,364	1,279,364	
資料作成費(印刷費)	936,166	1,022,015	1,022,015	
コンファレンスバック代	100,000	409,536	0	
プログラム委員会費	559,900	512,506	627,500	旅費、Web外注、START、雑費、懇親会費
年次大会会場費	3,003,700	2,198,851	2,917,111	会場費+送迎バス
年次大会人件費	0	0	0	
年次大会講師謝金等	500,000	348,710	500,000	
論文賞招待旅費	70,000	14,880	70,000	
代議員会等会議費	225,000	304,420	350,000	代議員会+スポンサー(朝食会、イブニング)
表彰関係費	330,000	270,000	300,000	
年次大会懇親会費	1,800,000	2,451,412	2,759,908	
実施委員会費	0	0	0	
託児委託費	50,000	100,299	100,299	
年次大会雑費	290,000	174,641	234,400	その他雑費+プロジェクト管理ツール
普及啓発事業	(9,210,000)	(8,552,186)	(16,475,000)	
論文誌印刷費	3,000,000	3,179,542	3,800,000	
論文誌通信運搬費	800,000	595,644	800,000	
論文誌編集費	1,450,000	1,602,782	1,800,000	
論文誌電子化費用	120,000	108,670	120,000	
編集委員会費	390,000	351,405	320,000	
編集事務局費	1,600,000	930,270	1,500,000	
特殊購読・雑誌頒布経費	200,000	148,148	200,000	
論文誌活性化支援	200,000	153,897	200,000	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	260,000	254,396	260,000	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等
若手研究者等の支援	100,000	100,000	100,000	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	0	0	
国際会議参加支援費	0	0	5,250,000	COLING2016寄付金の活用
産業界向けイベント開催費	990,000	827,432	1,825,000	
普及啓発事業雑費	100,000	300,000	300,000	国際会議の後援等
管理費	[4,139,800]	[3,605,022]	[4,023,000]	
法人設立費用	0	0	0	
代議員選挙費用	(160,000)	(170,945)	(0)	2年ごと(奇数年)
業務委託費	(2,724,800)	(2,657,500)	(2,788,000)	
学会事務委託費	2,224,800	2,235,100	2,266,000	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	0	0	0	総務事務局委託費(学会事務委託に編入)
税理士報酬	500,000	422,400	407,000	
社労士報酬	0	0	15,000	2020から税理士報酬より分離
司法書士報酬	0	0	100,000	理事変更登記、約10万円、2年ごと(偶数年)
会費集金費	(400,000)	(471,936)	(490,000)	
通信運搬費	(100,000)	(26,876)	(30,000)	
租税公課	(470,000)	(73,000)	(500,000)	法人市民税・住民税・消費税
振込手数料	(55,000)	(37,498)	(40,000)	
HP関連経費	(80,000)	(80,008)	(85,000)	
雑費	(150,000)	(87,259)	(90,000)	理事会旅費など
経常費用計	29,602,412	29,122,216	45,303,462	
当期経常収支差額	301,852	6,838,486	-7,619,198	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	301,852	6,838,486	-7,619,198	
一般正味財産期首残高	49,064,710	48,932,034	55,384,684	
一般正味財産期末残高	49,366,562	55,770,520	47,765,486	

新任理事候補者

本総会終結の時をもって理事全員が退任となりますので、理事の選任をお願いします。

役員名	氏名	所属
理事	奥村 学	東京工業大学
理事	乾 健太郎	東北大学
理事	内山 将夫	情報通信研究機構
理事	金山 博	日本アイ・ビー・エム
理事	松田 寛	Megagon Labs
理事	新納 浩幸	茨城大学
理事	堂坂 浩二	秋田県立大学
理事	鶴岡 慶雅	東京大学
理事	二宮 崇	愛媛大学
理事	荒牧 英治	奈良先端科学技術大学院大学
理事	荒瀬 由紀	大阪大学
理事	山下 達雄	ヤフー株式会社
理事	富士 秀	富士通研究所
理事	大熊 智子	富士ゼロックス
理事	松原 茂樹	名古屋大学
理事	徳久 良子	豊田中央研究所
理事	賀沢 秀人	Google
		(以上 17 名)

新任監事候補者

本総会終結の時をもって監事 1 名が退任しますので、監事の選任をお願いします。

役員名	氏名	所属
監事	落谷 亮	富士通
		(以上 1 名)

2020 年度役員構成予定

役員名	氏名	所属
理事（会長）	奥村 学	東京工業大学
理事（副会長）	乾 健太郎	東北大学
理事（編集委員長）	内山 将夫	情報通信研究機構
理事（大会担当）	金山 博	日本アイ・ビー・エム
理事（大会担当）	松田 寛	Megagon Labs
理事（大会担当）	新納 浩幸	茨城大学
理事（大会担当）	堂坂 浩二	秋田県立大学
理事（総務担当）	鶴岡 慶雅	東京大学
理事（総務担当）	二宮 崇	愛媛大学
理事（渉外担当）	荒牧 英治	奈良先端科学技術大学院大学
理事（渉外担当）	荒瀬 由紀	大阪大学
理事（財務担当）	山下 達雄	ヤフー株式会社
理事（財務担当）	富士 秀	富士通研究所
理事（広報担当）	大熊 智子	富士ゼロックス
理事（事業担当）	松原 茂樹	名古屋大学
理事（企画担当）	徳久 良子	豊田中央研究所
理事（企画担当）	賀沢 秀人	Google
		（以上 17 名）
監事	田中 英輝	NHK エンジニアリングシステム
監事	落谷 亮	富士通
		（以上 2 名）

2021 年度からの会誌「自然言語処理」の発行計画

現在, 会誌「自然言語処理」は紙媒体で発行されるとともに, 発行 3 ヶ月後に電子化され, J-STAGE で公開されています. 一方で, 近年, 多くの学会で主要な事業に関する電子化が推進され, 論文誌などの刊行物を完全に電子化し, 紙媒体を廃止している学会も少なくない状況です. これは, 刊行物の電子化が, 省力化や経費節減に寄与することが一因であると考えられます. そこで本学会でも検討を重ね, 2021 年度 (2021 年 1 月) から紙媒体での会誌の出版を廃止し, J-STAGE 上でのオンライン出版 (論文は随時掲載) に移行することといたしました. 印刷コストの低減分は, 会員サービスの向上などに活かしていきたいと考えています.

一方で, 電子化されると, 会員は電子媒体にアクセスしなければ, 会誌にどのような論文が掲載されたかも把握できない状況が生じる懸念があります. そこで, 会誌の目次 (実際には, 表紙) に当たる情報は, 本学会のニュースレターで随時配信していくようにしたいと考えています. ご理解を賜れば幸いです. よろしく願いいたします.

定款の改訂

現行
第3章 会員及び社員 (法人の構成員) 第5条 この法人に、次の会員を置く。 (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人 (2) 学生会員 学生であって、この法人の目的に賛同して入会した個人 (3) 賛助会員 この法人の事業を援助する個人、法人又は団体 (4) <u>特殊購読会員 この法人の目的に賛同し、この法人の発行する会誌及び刊行物を広く閲覧する目的で定期購読する個人、法人又は団体</u> 2 この法人の社員は、代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「法人法」という。）上の社員とする。 (略)

改訂
第3章 会員及び社員 (法人の構成員) 第5条 この法人に、次の会員を置く。 (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人 (2) 学生会員 学生であって、この法人の目的に賛同して入会した個人 (3) 賛助会員 この法人の事業を援助する個人、法人又は団体 2 この法人の社員は、代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「法人法」という。）上の社員とする。 (略)

2020 年度代議員構成

2018—2021 年度代議員		2020—2023 年度代議員	
相澤 彰子	国立情報学研究所	飯田 龍	情報通信研究機構
石下 円香	国立情報学研究所	今一 修	日立製作所
海野 裕也	Preferred Networks	北岡 教英	豊橋技術科学大学
岡崎 直観	東京工業大学	清田 陽司	LIFULL
奥村 紀之	大手前大学	古宮 嘉那子	茨城大学
乙武 北斗	福岡大学	高瀬 翔	東京工業大学
小磯 花絵	国立国語研究所	竹内 和広	大阪電気通信大学
柴田 知秀	ヤフー	田中 貴秋	NTT
鈴木 潤	東北大学	寺岡 丈博	拓殖大学
高橋 雅仁	久留米工業大学	難波 英嗣	中央大学
田村 晃裕	愛媛大学	能地 宏	産業技術総合研究所
西崎 博光	山梨大学	森田 一	富士通研究所
泓田 正雄	徳島大学	山崎 智弘	東芝
藤田 篤	情報通信研究機構	山田 一郎	NHK
プタシンスキ ミハウ	北見工業大学	吉野 幸一郎	奈良先端科学技術大学院大学
三浦 康秀	富士ゼロックス		
山崎 誠	国立国語研究所		
計 17 名		計 15 名	